

2020年度 事業計画書

期間：2020年7月1日～2021年3月31日

一般社団法人 B-BALLY'd

代表理事 須田将広

<法人事業全体として、2020年度の計画は2021年度の円滑活動につなげる内容にする>

- 定期練習会の準備と定着
- ドメイン入手、ホームページの立ち上げ、主要コンテンツの検討
- オンラインコンテンツ（講座、1on1 指導など）の準備
- ビバリード専属のコーチ及び手話通訳者の確保と育成の準備
- SNSやビラ配布など、広い情報発信の準備・拡張
- ビバリード・バスケットボール・クリニックもしくは体験会の準備と開催
- 寄付金集めやスポンサー確保の準備と実施
- 枚方市障害者社会参加促進事業スポーツ講習会へ協力（枚方市の障がい者の実態がわかる）

1. 育成事業

- a) 定期練習会を月4回で開催する（今年度は枚方を拠点に活動）
- b) ホームページの主要コンテンツ（不定期更新）を下記2つにして活動していく
 - i. 30秒ドリル
 - ii. インタビュー
- c) オンラインコンテンツ
 - i. Zoom オンライン講座の準備と実施
 - ii. Zoom オンライン 1on1 指導の準備と実施
 - iii. Zoom をより効率的に使うための方法を確立（手話通訳の配置、字幕化等）
- d) ビバリードの専属コーチ、専属手話通訳者の確保と育成の準備
 - i. 専属コーチのJBA公認コーチライセンス（C級）の取得援助
 - ii. 専属コーチの障害者スポーツ指導員及びコーチのライセンスの取得援助
 - iii. 上記以外のコーチングセミナーへ派遣（参加費、交通費、手話通訳費用を支給）
 - iv. 手話通訳セミナーへ専属手話通訳者を派遣（参加費、交通費を支給）
 - v. 別途、今年度中に規約を制定して、来年度以降の実現に向けて準備を進めていく
- e) SNS など広報活動を積極的に展開する
- f) 枚方市障害者社会参加促進事業スポーツ講習会へ協力
 - i. 枚方市の障がい者の実態が判明するきっかけにもなる
 - ii. そこをきっかけに北河内周辺へのアピールの一助にする
 - iii. 別途、今年度中に規約を制定して、来年度以降の実現に向けて準備を進めていく
- g) ビバリード・バスケットボール・クリニックもしくは体験会の開催を目指す
 - i. 遠方からの参加者が来やすくするため、休日の体育館を活用する
 - ii. 2021年3月に交流大会も視野に入れる
 - iii. 下に定期練習会及びクリニックの予定を示す

日程（予定）	場所（予定）	内容（予定）
7月23日～24日	伊加賀スポーツセンター@枚方	ビバリード体験会
8月15日～16日	伊加賀スポーツセンター@枚方	定期練習会(2h×4回)
9月未定	パナソニックアリーナ@枚方	定期練習会(2h×4回)
10月17日～18日	伊加賀スポーツセンター@枚方	定期練習会(2h×4回)
11月未定	パナソニックアリーナ@枚方	定期練習会(2h×4回)
12月12日～13日	伊加賀スポーツセンター@枚方	定期練習会(2h×4回)
翌年1月未定	パナソニックアリーナ@枚方	定期練習会(2h×4回)
翌年2月未定	パナソニックアリーナ@枚方	定期練習会(2h×4回)
翌年3月未定	伊加賀スポーツセンター@枚方	定期練習会(2h×4回)
翌年3月20日～21日	パナソニックアリーナ@枚方	ビバリードクリニック

2. 活動資金

- a) 募金
 - i. 口座開設後、繋がる募金などに申し込む
 - ii. 伊加賀スポーツセンター、パナソニックアリーナなどの施設受付に募金箱を置くなど
- b) スポンサー
 - i. 北河内周辺の企業などに団体の説明と活動のビラ作成、スポンサー集めを実施
 - ii. 障がい者向けCSRを重視している企業に積極的に連絡を取る
- c) 助成金
 - i. 各助成金団体の募集期間を確認しながら、積極的に申し込みを実施する
 - ii. 実績の積み重ねがわかるように常に情報を発信する（ホームページ、SNS など）
- d) その他
 - i. 北河内周辺にある市役所、教育委員会など含む主要企業へ後援を依頼

以上